

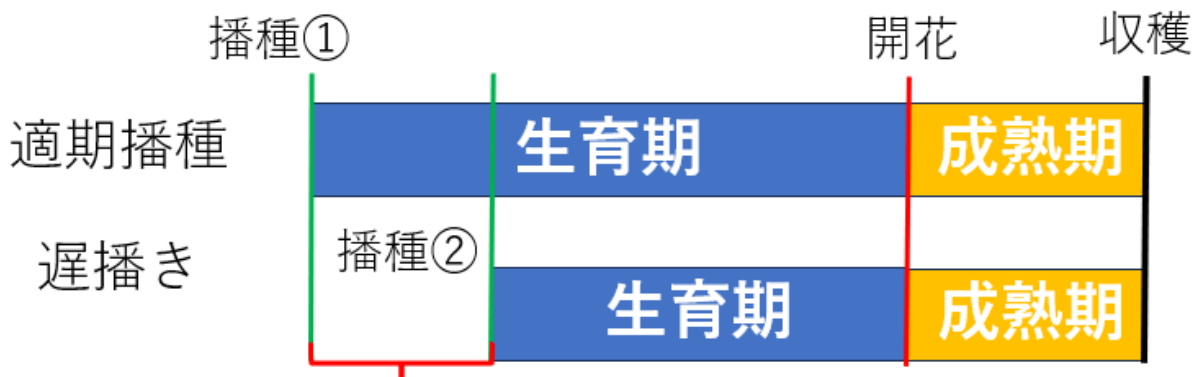
【大豆】 圃場準備と適期播種

令和7年6月

大分県東部振興局 生産流通部 集落営農・水田畑地化班

大豆の生態

大豆は、日の長さが短くなると開花が促進される植物



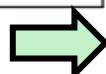
遅まきになると、生育期が短くなり、生育不良になりやすい。

生育不良になると・・・	影響	結果
草丈が短い	莢が生育する範囲が狭くなる	莢数・粒数の減少
葉の量が少ない	光合成量が少なくなる	充実不足 粒重の減少
圃場に隙間が多くなる	雑草が繁茂	さらなる生育不良
不健康な大豆になる	病虫害の被害を受けやすい	品質の低下

適期播種

適期播種	播種時期	条 間	株 間	播種量/10a
	7月1日～7月15日	75cm	20cm	4kg
	7月16日～7月25日	75cm	13～18cm	5～7kg
	7月26日～8月5日	70cm	10cm	9kg
	狭畦密植の場合→	30cm	20cm	10kg

裏面へ続く（適期播種のための圃場準備）



適期播種のための圃場準備

1.圃場選定

※連作の回避※

対策	効果
田畑輪換	一度水田にすることで ・病害発生抑制 ・雑草抑制
土壌診断	圃場の現状を把握でき、 適切な肥料設計ができる

水田化が難しい圃場は、**土壌改良剤**の投入を！
(詳しくは暦を参考に)

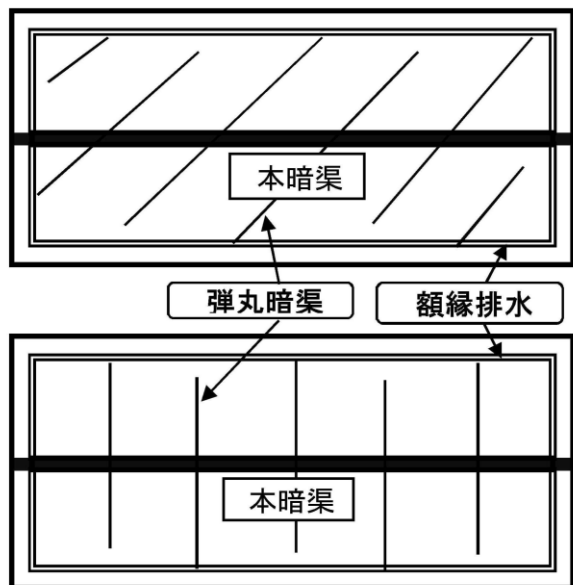
2.排水対策

※転作田では必須条件※

毎年播種適期は雨が多い。雨が降ったとしても、
滞水しない圃場の準備をしておくことが大切！！！！

耕起や播種前に

地表排水や畦畔からの浸透防止対策を行う



額縁排水